

公 民 館

生涯の各時期に生じる課題や社会的に要請される現代的課題の学習に取り組むとともに、地域の教育力の向上や多様な学習の機会の創設を図り、市民の生涯学習を支援する。また、社会教育機関としての機能を発揮するため、運営体制や施設設備の整備、充実を図る。

1. ライフステージにおける課題の学習機会の充実を図る

- (1) 青少年教育の充実
 - 「生きる力」をはぐくむ野外教育プログラムなどの事業を進める
- (2) 家庭教育の充実
 - 家庭の教育力を高めるため、乳幼児の心と体をはぐくむ親のための講座を開催する
- (3) 成人教育の充実
 - 家庭生活の充実や親の扶養などの生活課題と向き合う講座等の開催に努める
 - ボランティア活動などの社会参加を想定した教育プログラムの提供に努める
- (4) 高齢者教育の充実
 - 充実した日々を過ごすためのふれあいや学びの場を提供する

2. 現代的課題の学習機会の充実を図る

- (1) 人権学習の推進
 - 様々な人権問題について学ぶ場を提供する
- (2) 環境学習の充実
 - 日常生活と環境問題のつながりが意識できるプログラムの提供に努める

(3) 子育て支援の充実

- 子育てサロンの全市的展開を進める

(4) 情報学習の充実

- パソコン講座を全市的に開催する

(5) 地域に関する学習の推進

- 地域の歴史や文化、地域課題などを題材とした講座等の開催に努める

3. 地域の教育力の向上を図る

- (1) 地域の教育活動を支援する
- (2) 町内公民館講座の開設を支援する

4. 運営体制の充実を図る

- (1) 効率的な運営管理に努める
- (2) 公民館運営協力委員制度の活用を図り、公民館運営審議会の充実に努める
- (3) 職員研修を充実し、資質を高める

5. 既存公民館の施設設備の整備、充実を図る

- (1) 施設設備の整備、充実に努める
- (2) 施設の大規模改修を計画的に進める

市内公民館（17館 1分館 1分室）

（平成23.5.1現在）

施設名	所在地	電 話	建 物 の 概 要		
			構 造	面 積	建 築 年 度
中央公民館	三久保町18-3	222-1394	鉄筋3階の1階	581.12㎡	昭和43~44
さわやか活動館	的場2649-1	237-4890	鉄骨2階	998.88㎡	平成12（改築）
中央公民館分室	六軒町2-15-1	224-1343	木造1階	169.53㎡	昭和14（移築）
南公民館	新宿町1-12-8	243-0038	軽量鉄骨1階	258.36㎡	平成21
北公民館	氷川町107	222-1400	鉄筋2階	1,018.86㎡	平成2~3
芳野公民館	北田島119-2	222-1873	鉄筋2階	472.04㎡	昭和44
古谷公民館	古谷上3830-2	235-1834	鉄筋2階	575.68㎡	昭和45
南古谷公民館	今泉371-1	235-1519	鉄筋2階	662.86㎡	昭和51
高階公民館	藤間27-1	242-6064	鉄筋2階の一部	1,086.67㎡	平成18~19
高階南公民館	藤原町23-7	245-3581	鉄筋2階	1,373.42㎡	昭和55
福原公民館	今福481-3	242-5005	鉄筋2階	859.32㎡	昭和53
大東公民館	南大塚1-14-12	243-0022	鉄筋2階	654.37㎡	昭和47~48
大東南公民館	南台3-4-3	242-0498	鉄筋2階	1,059.35㎡	昭和58~59
霞ヶ関公民館	笠幡177-1	231-1009	鉄筋3階の1階	787.55㎡	昭和50~51
霞ヶ関北公民館	的場北1-18-6	231-4455	鉄筋2階	877.93㎡	昭和49
伊勢原公民館	伊勢原町5-1-1	237-5676	鉄筋2階の2階	736.30㎡	平成12~13
川鶴公民館	川鶴2-8-3	233-9306	鉄筋2階	1,030.54㎡	昭和63
名細公民館	小堤662-1	231-0001	鉄筋2階	1,696.84㎡	平成20~21
山田公民館	山田161-7	224-4194	鉄筋2階	584.47㎡	昭和46

主催事業実施状況①（平成22年度）

（回数（ ）内は講座等の事業数／参加者人数は延べ参加者数）

施 策 公民館名	青少年教育 の 充 実		家 庭 教 育 の 充 実		成 人 教 育 の 充 実		高 齢 者 教 育 の 充 実		ライフステージ における課題計		人 権 学 習 の 推 進		環 境 学 習 の 充 実				
	回 数	参加者 人 数	回 数	参加者 人 数	回 数	参加者 人 数	回 数	参加者 人 数	回 数	参加者 人 数	回 数	参加者 人 数	回 数	参加者 人 数			
中 央	(3)	33	(1)	3	(2)	18	(6)	217	(12)	271	10,004			(1)	6	113	
南	(1)	7	(3)	18	(6)	122	(1)	15	(11)	162	2,518	(1)	1	(1)	3	64	
北	(1)	8	(1)	5	(5)	30	(4)	32	(11)	75	1,723	(1)	5	(6)	19	1,097	
芳 野			(2)	5	(6)	21	(1)	12	(9)	38	1,009	(1)	4	(1)	2	44	
古 谷	(1)	8	(2)	6	(3)	19	(1)	8	(7)	41	1,035	(1)	6	(1)	2	27	
南古谷	(1)	2	(2)	10	(4)	15	(3)	18	(10)	45	820	(1)	5	(2)	7	53	
高 階	(2)	12	(1)	8	(3)	28	(1)	14	(7)	62	2,789	(1)	6	(1)	5	114	
高階南	(1)	3	(4)	20	(2)	20	(1)	15	(8)	58	2,170	(1)	1	(1)	1	22	
福 原	(1)	3	(4)	12	(3)	15	(1)	11	(9)	41	1,268	(1)	5	(1)	1	24	
大 東			(1)	4	(4)	5	(2)	18	(7)	27	938			(1)	1	4	
大東南	(1)	1	(1)	12	(4)	24	(1)	12	(7)	49	2,430	(1)	2	(1)	4	47	
霞ヶ関	(4)	12	(1)	5	(6)	36	(1)	8	(12)	61	1,560	(1)	3	(1)	3	44	
霞ヶ関北			(1)	4	(3)	23	1,008	(1)	14	(5)	41	1,847	(1)	2	(1)	1	26
伊勢原	(4)	17	(2)	4	(2)	4	99	(1)	15	(9)	40	3,522	(1)	2	(1)	1	19
川 鶴			(1)	6	(3)	50	1,017	(1)	4	(5)	60	1,228	(1)	6	(1)	4	100
名 細	(1)	6	(3)	16	(5)	94	588	(1)	16	(10)	132	1,672	(1)	3	(2)	7	62
山 田			(2)	2	(5)	18	200	(1)	10	(8)	30	533	(1)	4	(1)	2	11
計	(21)	112	(32)	140	(66)	542	8,082	(28)	439	(147)	1,233	37,066	(15)	55	(24)	69	1,871

主催事業実施状況②（平成22年度）

（回数（ ）内は講座等の事業数／参加者人数は延べ参加者数）

施 策 公民館名	子育て支援 の 充 実		情報学習の充実		地域に関する 学習の推進		現代的課題計		地 域 教 育 活動の支援		会議等	合計	施 設 利 用		
	回 数	参加者 人 数	回 数	参加者 人 数	回 数	参加者 人 数	回 数	参加者 人 数	回 数	参加者 人 数	参加者 人 数	参加者 人 数	件 数	利用者 人 数	
中 央	(6)	46	(3)	5	(1)	1	(11)	58	(4)	27	372	790	13,412	5,907	80,873
南	(1)	22	(1)	2	(1)	5	(5)	33	(2)	15	80	29	3,355	2,484	36,110
北	(2)	27	(3)	6	(1)	3	(13)	60	(8)	22	632	132	5,048	2,815	47,881
芳 野	(1)	12	(3)	6	(1)	3	(7)	27	(10)	17	868	257	2,924	836	12,537
古 谷	(3)	20	(2)	4	(1)	1	(8)	33	(4)	4	827	45	2,796	1,028	15,797
南古谷	(1)	11	(4)	8	(1)	12	(9)	43	(7)	10	4,662	113	6,656	2,010	28,626
高 階	(3)	17	(4)	8	(1)	4	(10)	40	(9)	13	637	87	5,619	5,466	85,207
高階南	(7)	21	(4)	8	(2)	3	(15)	34	(11)	89	1,722	115	5,554	4,094	78,673
福 原	(1)	24	(3)	6	(2)	6	(8)	42	(2)	2	133	135	2,620	1,414	29,202
大 東	(2)	29	(3)	6			(6)	36	(1)	9	225	71	2,495	1,983	39,944
大東南	(1)	36	(3)	6	(1)	2	(7)	50	(7)	79	965	205	5,400	2,752	50,626
霞ヶ関	(1)	19	(3)	15	(5)	6	(11)	46	(6)	6	208	158	3,628	1,719	36,348
霞ヶ関北	(1)	20	(3)	6	(1)	1	(7)	30	(2)	6	600	109	3,799	3,215	47,554
伊勢原	(1)	12	(3)	6	(1)	1	(7)	22	(8)	34	950	280	5,337	3,597	58,365
川 鶴	(2)	22	(4)	8	(1)	1	(9)	41	(5)	31	251	150	2,650	2,601	41,633
名 細	(2)	14	(2)	4	(1)	2	(8)	30	(3)	6	287	89	2,892	3,724	71,947
山 田	(1)	10	(3)	6	(1)	2	(7)	24	(3)	8	334	53	1,691	1,369	18,651
計	(36)	362	(51)	110	(22)	53	(148)	649	(92)	378	13,753	2,818	75,876	47,014	779,974

※施設利用の中央公民館には「さわやか活動館」「分室」、伊勢原公民館には「霞ヶ関北小学校特別教室」の数を含む。

※ライフステージにおける課題計は、青少年教育の充実、家庭教育の充実、成人教育の充実、高齢者教育の充実の小計。

現代的課題計は、人権学習の推進、環境学習の充実、子育て支援の充実、情報学習の充実、地域に関する学習の推進の小計。

図 書 館（視聴覚ライブラリー）

市民の多様な学習要求にこたえるため、生涯学習に必要な各種資料の充実、図書館網の整備、施設・設備の効果的活用を図り、市民生活の向上と地域文化の発展に寄与する。

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> (1) 図書館サービス網の整備 <ul style="list-style-type: none"> ● 図書館分館計画の推進 ● 図書館ネットワーク網の整備、充実 (2) 図書館資料の収集・整備 <ul style="list-style-type: none"> ● 参考図書・基本図書の充実 ● 地域資料の整備 ● 利用者のニーズに応じた資料収集 (3) サービス内容の充実 <ul style="list-style-type: none"> ● レファレンスサービスの充実 ● 乳幼児・児童サービスの充実 | <ul style="list-style-type: none"> ● 障害者サービスの充実 (4) 地域文化創造の推進 <ul style="list-style-type: none"> ● 講演会・講座の実施 (5) 視聴覚ライブラリーの整備、充実 (6) 学校との連携による児童の読書活動の推進（西図書館） (7) 通勤・通学者へのサービスの充実（川越駅東口図書館） (8) 地域図書館における個人学習・研究活動の支援（高階図書館） |
|---|---|

施設概要

() は司書

施設名	所在地	電 話	敷地面積	建 物 の 概 要			職 員				
				構 造	延床面積	建築年度	館長	副館長	主査	事務職員	計
中央図書館	三久保町2-9	222-0559	4,296.37㎡	鉄筋地上3階地下1階	5,931.27㎡	昭和59年	1 (1)	1 (1)	6 (2)	18 (7)	26 (11)
西図書館	伊勢原町5-1-1	237-5660	2,220.75㎡	鉄筋2階の1階	2,068.60㎡	平成14年	1 (0)		1 (1)	6 (4)	8 (5)
川越駅東口図書館	菅原町23-10	228-7712	662.68㎡	鉄筋6階の1・2・3階	1,315.87㎡	平成14年	1 (0)		1 (1)	6 (2)	8 (3)
高階図書館	藤間27-1	238-7550	8,417.25㎡	鉄筋2階の2階	1,235.71㎡	平成20年	1 (0)		1 (1)	6 (2)	8 (3)

※西図書館の敷地面積は、霞ヶ関北小学校複合施設棟の建築面積を記載。

※高階図書館の敷地面積は、高階市民センターの建築面積を記載。

資料の利用状況（貸出点数）

(平成22年度)

場所	種別						計
	一般	児童	郷土	雑誌	A V		
中央図書館	279,988	144,117	3	28,865	21,441	474,414	
(内)霞ヶ関南分室	(4,193)	(888)	0	(1,003)	(81)	(6,165)	
西図書館	339,119	158,410	0	30,935	65,008	593,472	
川越駅東口図書館	208,340	78,252	0	25,286	44,422	356,300	
高階図書館	230,497	129,793	0	25,800	99,238	485,328	
計	1,057,944	510,572	3	110,886	230,109	1,909,514	

施設の利用状況

(平成22年度)

施設名	利用件数	利用人数
展示室	37	10,363
視聴覚ホール	119	7,321
グループ研究室	71	808
講座室	31	1,026
計	258	19,518

レファレンス件数 (平成22年度)

	レファレンス	所蔵調査	計
口頭	42	48	90
電話	23	6,799	6,822
文書	1	2	3
計	66	6,849	6,915



中央図書館



西図書館



川越駅東口図書館



高階図書館

蔵書の状況

(平成23. 3. 31現在)

中央図書館	一般図書	338,527	西図書館 川越駅東口図書館 高階図書館	一般図書	92,820
	児童図書	122,604		児童図書	37,620
	郷土資料	22,749		A V 資料	11,359
	近世史料	111		障害資料	4,228
	和書	10,041		一般図書	41,611
	貴重図書	208		児童図書	21,759
	その他	48		A V 資料	11,645
	障害資料	381		一般図書	51,859
	A V 資料	7,015		児童図書	20,647
	マイクロ資料	1,801		A V 資料	8,189
合 計			805,270		

障害者サービス状況

(平成22年度)

区分 施設名	対面朗読			新規所蔵資料			録音資料		点字資料	
	利用者	利用者実数	時間	録音受入資料	プライベート資料作成	点字資料(タイトル)	貸出	借受	貸出	借受
中央図書館	18	3	38.0	0	(25)101	0	0	(255) 263	25	1
西図書館	43	5	140.5	(27) 27	(25) 25	0	0	(1,835) 2,064	0	12
川越駅東口図書館	148	7	363.5	0		0	(473) 485	0	0	0
高階図書館	5	1	9.0	0		0	0	0	0	0
合計	214	16	551.0	(27) 27	(50)126	0	(473) 485	(2,090) 2,327	25	13

※ () 内はタイトル数。

視聴覚ライブラリー

設置年度	所 在 地	電 話 番 号
昭和51年度	川越市三久保町2-9 (中央図書館内)	222-0559

主な所有機材と利用状況

(平成22年度)

種 類	所 有 数	利 用 数	種 類	所 有 数	利 用 数
16ミリフィルム	696本	952本	O H P	2台	21台
16ミリ映写機	17台	377台	D V D デッキ等	6台	43台
スライド映写機	2台	3台	スクリーン	9台	77台
O H C	2台	2台	ビデオプロジェクター	2台	75台

博 物 館

市制施行60周年記念事業の一環として、生涯学習の中心施設となる博物館が設立された。
市内に残る歴史的遺産の収集・保存、調査・研究を基に展示活動や教育普及活動を行い、市民の愛郷心の育成に資することを目的とする。

- (1) 資料の収集、調査・研究
 - 川越地方に関係のある郷土資料を収集する。
- (2) 保存管理
 - 収集資料は分類整理し、収蔵庫等で保存管理し、保存の万全を図る。
- (3) 展示事業
 - 常設展示では、川越の歴史を理解しやすく、親しみやすい展示にするとともに、市民の要望に添った企画展等を行う。
- (4) 教育普及事業
 - 市民の要望に添った各種講座・講演会を開催するとともに、学校教育・社会教育への協力援助を行う。



施 設 概 要

() は学芸員有資格者

所在地	電 話	敷地面積	建 物 の 概 要			職 員				
			構 造	延床面積	建築年度	館長	副館長	主査	事務職員	計
郭 町 2-30-1	222-5399	8,136.47㎡ 旧川越城 二の丸跡	鉄筋コンクリート造、地上3階地下1階	3,985.97㎡	平成元年度	1 (1)	1	2 (2)	10 (3)	14 (6)

博物館・蔵造り資料館・本丸御殿入館者数 (平成22年度)

施設名	月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
		博物館	有料	2,989	5,172	1,866	2,035	2,445	2,164	3,772	3,132	1,006	2,064	
無料	2,266		5,069	6,936	2,886	2,242	3,743	3,276	6,905	2,175	3,553	6,075	1,588	46,714
計	5,255		10,241	8,802	4,921	4,687	5,907	7,048	10,037	3,181	5,617	8,098	3,369	77,163
蔵造り資料館	有料	4,211	6,797	3,829	3,072	2,797	3,536	5,234	5,275	1,730	2,577	2,263	1,464	42,785
	無料	1,044	2,781	5,150	1,369	683	2,909	1,961	4,632	2,124	1,006	2,842	814	27,315
	計	5,255	9,578	8,979	4,441	3,480	6,445	7,195	9,907	3,854	3,583	5,105	2,278	70,100
本丸御殿	有料												0	0
	無料												8,669	8,669
	計												8,669	8,669

※本丸御殿は、平成23年3月26日に再オープン。竣工記念として、3月31日まで無料公開。



子ども体験教室「あいぞめでハンカチ作り」の様子



平成22年度開館20周年記念特別展
「知恵伊豆信綱－松平信綱と川越藩政－」の展示風景

展 示 事 業 (平成23年度)

名 称	開 催 期 間
第21回収蔵品展「木工職人の道具と技」	平成23年7月16日～9月19日
第36回企画展「名主奥貫友山と寛保2年の大水害」	平成23年10月8日～11月23日
第22回「むかしの勉強・むかしの遊び」展	平成24年1月14日～3月4日
第37回企画展「保岡勝也とその時代」(仮題)	平成24年3月24日～5月13日

各 種 講 座 (平成23年度)

講 座 名	開 催 日	講 座 名	開 催 日
博物館歴史講座	①7月10日・17日・24日	子ども体験教室	毎月第2・第3土曜日を中心に実施
	②10月9日・16日・23日	子ども博物館教室	①6月4日
	③1月15日・22日・29日		②10月22日
	④2月12日・19日・26日		③2月25日
野外博物館教室	①7月23日	夏休み子ども体験	①7月28日
	②10月15日		②8月3日
	③11月26日	夏休み遊びの時間	③8月5日
	④1月8日		7月30日・31日
古文書講座	①11月5日	土偶作り教室	1月28日
	②11月13日・20日・27日	民俗芸能実演	11月3日

川越城本丸御殿・蔵造り資料館概要



川越城本丸御殿

所在地…郭町2-13-1 (電話 224-6015)
敷地面積…2,178㎡
延床面積…802.06㎡
構造…木造平屋建
建築年度…嘉永元年(1848)



蔵造り資料館

所在地…幸町7-9 (電話 225-4287)
敷地面積…674.19㎡
延床面積…322.57㎡
構造…土蔵造り2階建
建築年度…明治26年(1893)

川越城本丸御殿保存修理工事

川越城は長禄元年（1457）、扇谷上杉持朝の命により、太田道真・道灌父子らによって築かれた城である。城域は武蔵野台地の一部である川越台地の東北端に位置し、東に荒川の沖積地、北と南に小支谷を擁する天然の要害に占地されている。当初の縄張りは現在の本丸周辺部のみと推測されるが、後北条氏支配時代に改修され、江戸時代前期にさらに拡張されて明治に至る。

本丸御殿は江戸時代前期の『江戸図屏風』（国立歴史民俗博物館蔵）に描かれたものが最も古い姿であるが、「川越御城」の本丸部分には瓦葺きと橡葺き^{とら}と考えられる数棟の建物と多くの人々が描かれている。人々の中には鷹を手に乗せた「鷹匠」と思われる者や獲物と思われる獣を担いだ者などが見られることから、この頃の本丸御殿は当時、度々川越地方に来訪した將軍の「御成御殿」であったと類推することができる。

江戸時代末の弘化3年（1846）、城主の居所のあった二の丸で火災が発生し、二の丸御殿が焼失した。そのため、再建の地を当時空地であった本丸に求め、嘉永元年（1848）、本丸御殿が竣工した。このときには全16棟、1,025坪の広大な御殿であった。

明治維新後、川越城の諸建物は順次解体されていった。本丸御殿は、明治4年に入間県庁としてその一部が使用されたため、玄関・大広間部分が残されることとなった。その後建物は入間郡公会所や煙草工場、修練道場、学校校舎・屋内運動場などに使用された。多くの人に親しまれた「武徳殿」という名称は、昭和8年にこの建物が川越地方武道奨励会の修練道場として「初雁武徳殿」になったことによる。

昭和42年3月に埼玉県指定文化財に指定されると、同年7月から翌昭和43年2月にかけて大規模な解体修理工事を実施し、外観の整備と内部の復元がなされた。

その後30年以上が経過した時点で、建物の雨漏りなどが報告されたため、平成14年度に川越城本丸御殿損朽調査を実施した。その結果、内部の部材に腐朽が認められたため、保存修理工事を実施することになった。工事は埼玉県の補助を受けて、平成20年度から22年度にかけて実施された。

修理工事の内容は、建物の梁や柱などの構造体を残して解体し、その後修理を施して元の姿に復元する「半解体修理」という方法を採用した。建物の解体に際しては建物の変遷を考察するため、痕跡調査を併せて実施した。

今回の保存修理工事は、大きく以下の4点を中心に行った。

- ① 雨漏りの補修
- ② 建物の歪みの修正
- ③ 土壁の復元
- ④ 構造補強

雨漏りについては、以前からその発生が報告されており、雨水の屋根裏への浸入により、玄関部分などで梁の一部が腐朽していることが判明していた。工事は瓦を全て撤去し、葺き土や屋根下地、野地板を除去し、屋根を支える垂木を補修した後、屋根を葺き直した。解体前の屋根下地は昭和42年の修理において、サワラの薄板を重ねた「土居葺き」から「杉皮葺き」に替えられていたが、今回の保存修理工事では当初の土居葺きに近い杉



の薄板によるシートを使用し、重ねて防水シートを貼ることで雨漏り抑止とした。結果的に瓦は全て葺き直すことになり、約2万枚の瓦の破損を調査して再使用できるものを抽出し、不足した瓦の分を新製して葺いている。

一般的に、木造建築において建物の荷重は柱によって支えられているが、荷重は建物の部位によって異なるため、長い間には柱ごとに沈む「不同沈下」が発生する。不同沈下が起こると柱と柱を繋ぐ梁や桁が水平でなくなり、建物が歪み本来のバランスが保てなくなるため、さらなる沈下の進行や建物の強度の低下につながる。そのため、建物の歪みを修正し、健全な状態に戻すことで建物の持つ本来の強度を得ることができる。本丸御殿では北東隅と南西隅で約4cmの不同沈下が認められたため、その歪みを修正する工事を実施した。工事は柱を1本ずつジャッキアップし、建物の水平を調整したり、西側に傾いていた建物をワイヤーで引っ張り、柱を垂直にした。また、柱の接地部分の腐朽も建物の歪みの一因と考えられ、必要に応じて柱の下端部に「根継ぎ」を施すことで、歪みの修正の一環として実施している。

土壁の復元は、昭和42年の修理の際に石膏ボード下地などの建材が使用されていたため、伝統的な竹小舞による土壁の復元を行った。壁土は屋根の葺き土と新しい壁土を配合して、約4か月間熟成させて使用した。伝統的な土壁は建物の強度を増すためにも効果があり、地震の際の倒壊防止にも効果がある。

構造補強は、想定される大地震でも倒壊しない建物となるよう小屋裏や床下など見学者の見えないところに必要な補強材を設置した。小屋裏は垂直方向に木材、水平方向に金属製の補強材を取り付け、床下は欠失した貫を補足し、外周部に補強土台と呼ぶ新材を取り付けた。これにより、居室部分の土壁と併せて建物全体の補強となった。

保存修理工事による外観の大きな変更はないが、南西隅に接続する「明治棟」の改修を併せて実施したことや家老詰所への渡廊下の新築は変更点としてあげることができる。明治棟は、明治初期の入間県庁の頃に解体された城内の他の建物の部材を転用して建てられた建物で、部材を保管する目的から解体せずに残し、痕跡調査によって判明した間取りに復元した。渡廊下は雨水処理が不完全であったため解体して新築した。細かい部分では、不揃いであった軒丸瓦を「葵」文のものに統一するため、すべて新製したものを使用した点や南側の大棟の鬼瓦を北側の複製したものに載せ替えたことも挙げられる。

今回の保存修理工事は、本丸御殿が文化財建造物として将来に残る建物となるよう進めてきた。しかし、建物を末永く残すためには市民の方々に広く文化財に関する理解を得ることも重要である。博物館では今後、本丸御殿を活用した事業を展開することで、この本丸御殿に親しみを持たせ、希少な文化財建造物の重要性を啓発していきたい。



学 童 保 育

今日では、結婚観や価値観など個人の意識の変化とともに、女性の社会参加が進む中で育児と仕事を両立することへの負担感が増大している。また、核家族化や都市化の進展により、育児に親族や近隣の支援を受けにくくなっているため、母親の孤立や不安感が増大しているといわれている。

そこで、昼間保護者のいない家庭の児童について、安全等を確保するとともに遊びを通じた自主性・社会性・創造性の向上を図るため、市立32小学校に学童保育室を開設して放課後の生活と遊びの場を提供し、心の豊かさを育てる保育の充実に努めている。

(平成23.4.1現在)

保育室名	設置年度	建物面積(m ²)	所 在 地	電 話	指導員数	在 籍 人 数
川越第一	昭和55	139.0	郭町1-21 小学校内	224-4134	3	62
川 越	昭和54	159.0	郭町1-1-1	224-4755	6	67(3)
中 央	昭和54	127.0	中原町1-25	224-3999	3	34(3)
仙 波	昭和54	278.4	富士見町4-1	222-4877	4	78
武 蔵 野	昭和56	90.9	むさし野14-1	242-6132	4	67
新 宿	昭和57	220.5	新宿町6-9-1	242-6129	5	85(1)
大 塚	昭和49	149.2	南大塚1090-1	245-2552	5	49(4)
泉	昭和56	110.1	小室463	245-7232	3	62
月 越	昭和45	126.7	月吉町51	224-6656	4	40(4)
今 成	昭和53	106.4	今成2-42-1	225-3747	2	29
芳 野	平成6	120.7	鴨田331	224-7976	3	45(1)
古 谷	昭和55	151.0	古谷上5465	235-4725	3	50
南 古 谷	昭和54	265.0	木野目1451	235-1863	8	100(5)
牛 子	昭和51	190.4	牛子418	246-0741	5	93
高 階	昭和54	254.0	砂新田58	244-6753	5	77(2)
高 階 南	昭和49	160.4	藤原町18-6 公園内	244-4667	5	55(4)
高 階 北	昭和50	209.5	砂新田1-16-1 小学校内	245-3906	8	67(11)
高 階 西	昭和54	130.0	藤間1102	244-6752	2	36
寺 尾	昭和52	125.4	寺尾979-2	246-0740	2	41
福 原	昭和58	123.2	今福508	246-0036	4	70
大 東 東	昭和52	124.6	豊田本1162	244-9783	4	54(1)
大 東 西	昭和50	132.5	山城32-5	246-8780	3	66
霞ヶ関	昭和54	243.5	笠幡177	232-1328	8	93(7)
霞ヶ関南	昭和50	222.9	かすみ野1-1-4	232-7070	2	19
霞ヶ関北	昭和48	232.2	伊勢原町5-1-1	232-5253	4	85
霞ヶ関東	昭和53	99.0	的場2735-2	232-7959	2	28
霞ヶ関西	昭和52	122.0	笠幡3971-4	232-5508	3	50
川 越 西	昭和59	126.0	川鶴1-5	232-5601	3	63
名 細	昭和51	171.9	小堤214	232-4519	7	78(8)
上 戸	昭和51	134.0	上戸390-1	232-4518	3	45
広 谷	昭和56	126.0	下広谷558-1	233-4790	3	51
山 田	昭和54	165.0	山田167	222-4151	3	63
計					129	1,902(54)

() は障害児再掲